

■令和8年 4月27日 No.33 「特別編」

①おはようございます。今日は「本当の勇気」というお話をします。皆さんは、勇気と聞くとどんなことを想像しますか？高いところから、飛び降りたりすることでしょうか？それとも、暗いところにも、進んでいくことでしょうか？少しまわりの人と聴き合ってみてください。

②勇気を辞書で調べると、物事を恐れない強い心。興奮して、気持ちに勢いがあり、危険や困難に恐れず立ちむかうさま。とあります。例えば、ポケモンでさとしやピカチュウが、すごいダメージをくらっていても、絶対に勝つてやる！と、最後の最後まで粘り強く相手に向かっていくときなど、「勇気を出してがんばる」と言ったりするのですね。

③ただ、これだと勇気というのは、何か特別な場所や状況でないと、出てこないように思えますが、実は、学校でも勇気を出す場面はよくあります。というか、あってほしいと思います。どんなときだと思いますか？少し周りの人と聴き合ってみてください。

④勇気の意味を辞書で調べると、実はもう一つ別の意味があります。それは、「相手を励ます」という意味もあるのです。これは、勇気が恐怖や困難だけでなく「恥ずかしさにも打ち勝つ」という意味もあるからなのです。人にもよるかもしれませんが、相手の人を励ますのは、少し恥ずかしいときもあります。授業中に、友達がなかなか意見を言えなくてもじもじしているときに、「がんばって、応援しているよ」と心では言えても、実際に言うのは少し恥ずかしくて勇気があるかもしれません。

⑤学校で勇気を出すときは、実はもう1パターンあります。さっきの恥ずかしさに打ち克つ勇気に似ているかもしれませんが、どんなときかわかりますか？少し周りの人と聴き合ってみてください。

⑥それは、友だちがいけない行動、特に嘘をついているときにきちんと注意をすることです。つい、友だちをかばうつもりで、嘘に嘘を重ねてしまう

ことがあるかもしれませんが、それは大きな間違いです。本当にその友だちのことを思うのなら、勇気をだして注意をしてください。実は、先生やお家の人から注意されるよりも、友だちから注意されるのが、友だちの言葉というのが一番心に届きやすいのです。

⑦「ちゃんと、ほんとのこといいや」このセリフなかなか言えないかもしれません。でもあなたが、本当にその友だちのことを大切に思っているのなら、勇気を出して言わないといけないセリフです。これが、「本当の勇気」だと思います。

⑧そもそも、嘘をつくことはいけないことです。みなさんは、こんなことはありませんか。宿題をしていないのに、「やりました」と言ってしまった。ほんとうは自分がしたのに、「ちがいます」と言ってしまった。ひとはなぜ嘘をついてしまうのでしょうか

⑨それは、「しかられたくないな」「知られたくないな」そんな気持ちからつい言うってしまう。でもうそをついたあと、心はどうなりますか。なんだか、すっきりしない。どこか、重たい。「ぼれないかな」と、ずっと気になってしまう。うそは、心の中に、小さな影をつくります。その影は、だんだん大きくなって、自分の心を苦しくしてしまいます。⑩では、正直に言ったらどうでしょう。たとえば、宿題を忘れてしまったとき。「できていません」と言うのは、こわいですね。勇気がいります。でも、言えたとき心は、どうなりますか。ふっと、軽くなる。空気がすっと入るように、楽になる。そして、まわりの人はきつと言います。「大丈夫、いっしょにがんばろう」正直でいることは、自分を助けることでもあるのです。

⑪ここで、みなさんに一つ、覚えておいてほしいことがあります。まちがえることは、悪いことではありません。だれでも、まちがえます。大人でも、まちがえます。でも、うそをつくると、そのまちがいは大きくなってしまいます。正直に言うと、そのまちがいは、やり直すことができる。ここが、大き

な違いです。

⑫正直でいる人は、強い人です。「本当の勇気」を持っている人です。そして、そういう人は、まわりの人から「信じてもらえる人」になります。信じてもらえる人は、困ったときに助けてもらえる人です。つまり、正直でいることは、未来の自分を助けることでもあるのです。

⑬みなさんに、お願いがあります。まちがえたときこそ、うまくいかなかったときこそ、ほんとうのことを、言ってください。それが、みなさんを強くしてくれます。そしてもし、まわりの人が正直に話してくれたときは、どうか、笑ったり、責めたりしないでください。「言ってくれてありがとう」そう言える人になってください。そういう言葉が、また次の「正直」を生みます。

そして、まわりに正直になれていないお友だちがいたら「正直でいよう」と本当の勇気を出して言える人になってください。

⑭最後に。正直でいようとしたその一言は、だれにも見えないかもしれません。でも、その一言が、あなたの心を守り、そして、あなたを信じてくれる人を、きっと増やしていきます。みなさん一人ひとりが、自分の心にうそをつかない人でいてください。それが、この学校を、本当にやさしい場所にしてくれます。

これでお話を終わります。ありがとうございました。